

明けましておめでとうございます。

今年も人権問題に真摯に向かい合い人権啓発に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年は冬季オリンピック、サッカーワールドカップなど、スポーツのビッグイベントが開催される年です。いずれの大会も人権を重んじているものの、選手の人種差別問題、インフラ整備での労働者問題、環境問題など、私たちがもっと関心を持ち考えなくてはならない人権問題があります。スポーツを通じて学ぶこともたくさんあるはず。オリンピック・パラリンピックやサッカーワールドカップを人権の観点からも見ることは、2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピックを日本で開催する私たちにとって必要だと思います。



オリンピックと人権



オリンピックはスポーツを通じた教育や平和のために誕生した祭典であるものの、様々な人権問題を抱えてきました。IOCが制定した「オリンピック憲章」に定められたオリンピズムの根本原則には「人権の尊重」が謳われています。

- 2. オリンピズムの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てることである。
- 4. スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては友情、連帯、フェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。
- 6. このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。

(※日本オリンピック委員会「オリンピック憲章 Olympic Charter 2016年版・英和対訳」より抜粋)



2月9日～2月25日、「第23回オリンピック冬季競技大会」が韓国・平昌にて行われます。フィギュアスケート・羽生結弦選手の2大会連続の金メダルに注目が集るなど、日本選手の活躍が楽しみな大会となりそうです。

1968年メキシコオリンピックにおけるブラックパワー・サリュート

メキシコオリンピック男子200Mでの表彰台は「いかなる種類の政治的、宗教的、そして人種的な宣伝活動も禁止されている」オリンピックにおいて、黒人差別に抗議を行ったブラックパワー・サリュートとして有名です。アメリカにおいて黒人へのリンチや暴行など人種差別で大きく揺れていた時代に、黒人であるアメリカ代表の金メダリストのトミー・スミス選手と銅メダリストのジョン・カーロス選手が表彰式の壇上で人種差別への抗議として頭を下げ黒手袋をはめた拳を高く突き上げました。また、オーストラリア代表銀メダリストのピーター・ノーマン選手も白人でありながら二人の意図に賛同し、人種差別へ抗議する団体のバッジを身につけて表彰台に上りました。

この事件は世界中で賛否両論の嵐を巻き起こし、オリンピックの理念に反するとしてスミス選手とカーロス選手はオリンピックから永久追放されてしまいます。また、ノーマン選手は当時白豪主義を掲げていた母国オーストラリアから大きく非難されることとなります。3人は帰国後それぞれ大変な苦難を味わうこととなりますが、アメリカの人種差別が撤廃された後、スミス選手とカーロス選手は人権のために戦った英雄としてサン・ホセ州立大学に像が建てられます。しかし、表彰台を再現したシーンに2位ノーマン選手の像はなく空となっています。そして台座には次のように刻まれています。

「take a stand」この言葉には2つの意味が込められている。

1つは「ここに立ってみてください」。そしてもう1つは「自分が信じたことのために立ち上がりなさい」。

ノーマン選手が人種差別への抗議をしたのは、両親から「肌の色や生まれた場所なんか関係ない、人間はみんな平等なんだ、それをいつも忘れるな」と教えられていたためといわれています。そのノーマン選手の物語はドキュメンタリー映画「サリュート」として2012年に公開され、オーストラリアの国内外で8つもの映画賞を受賞しました。「彼のしたことがどれほど大変で勇気があることだったかを伝えたい」と、そのメガホンをとったのは彼の甥でした。メキシコオリンピックから半世紀経ち平昌オリンピックが開催されます。あらためて人種差別をはじめとする人権問題が起こらないよう願うとともに、彼らの意思を私たちが心にも心に刻むべきではないでしょうか。

今後の予定

人権パネル展 2月8日～2月21日 (甲府市役所/甲府市南西公民館)

人権啓発講演会 2月14日 (甲府地区広域行政事務組合 消防本部)、2月15日 (甲府市役所)



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp